

「河川技術・流域管理分野 指定課題」 (令和2年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
石礫河川における三次元局所流と非平衡流砂運動を考慮した河岸・堤防の侵食解析手法の開発	中央大学 竹村 吉晴	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>非静水圧準三次元解析法 (Q3D-FEBS) と、石礫河川の掃流砂・浮遊砂の非平衡流砂運動を取り込んで河床変動解析を行うとともに、サクシヨンによる河岸の安定機構と崩落土砂の堆積過程を考慮した石礫河川の河岸・堤防侵食の解析手法を構築する。さらに常願寺川現地実験および現地石礫河川を対象に本解析手法の有効性を検証するとともに、本解析手法により河岸・堤防侵食の危険箇所等を検討するための課題等を明らかにする。</p>		
<p>&lt;事後評価指摘事項&gt;</p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※ 評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。